

「「攻め」で意識されているところはどんなところですか」

北村 和也

攻めを利かせるため、面を打つつもりで攻めています。

自分の攻めを相手に利かせることが大切です。

自分の攻めが利いている状態だと、相手は後ろに下がったり、出てきたとしても不十分な打ちになります。相手が下がれば、打ち込みやすくなりますし、不十分な打ちであれば、返し技が容易になります。

また、中段の構えでは、面が空いているため、面を打つつもりで竹刀を払ったり、間合いに入ったりすると相手に圧力をかけることができます。

小手や胴を打つ場合でも、面を打つつもりで攻め、打突時に小手や胴に変化します。

面を打つつもりで攻め込むことで相手の手元が浮き、小手や胴に隙ができます。